

平成 24 年 7 月 7 日

中札内村村長 田村 光義様

北大山の会会長

小泉 章夫

国土地理院地形図に記載された地名の訂正について（お願い）

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

突然、お手紙を差し上げることをお許しください。北大山の会は北海道大学山岳部の OB を中心として登山活動や山岳文化活動を行っている団体です。

さて、貴村は札内川が日高山脈への登山口の一つであることから、日高山脈山岳センターの運営や遭難慰霊碑の建立など、日頃から安全登山の普及に尽力されておられます。当会の会員や北大山岳部の部員が日高山脈へ登山を行う際にも、貴村にお世話になっておりますことを、改めて感謝申し上げます。その登山の際には、国土地理院発行の地形図（1/25000 および 1/50000 縮尺）を携行しておりますが、平成 2 年以降に始まった一連の地形図の修正・更新にもなっており、貴村管内の札内川上流の河川名が変更されてきていることがわかりました。

札内川支流の従来名称は、地形図「札内川上流」（添付資料 1）や「日本の名山 1 大雪・日高と北海道の名山（ぎょうせい刊）」の 92p 図（添付資料 2）にある通り、標高 1470 二股から上流に向かって、六の沢（左岸）、七の沢（右岸）、八の沢（右岸）、キネンベツ（左岸）、九の沢（右岸）、十の沢（右岸）、そして本流は札内岳南西面を源流部としています。

戦前から広尾に入植して牧場を営む傍ら、日高の山を愛好された、当会の故坂本直行氏をはじめ、登山者は長らくこの名称にしたがって、日高山脈への山旅をおこなってきました。前述の「日本の名山 1」ほか多くの山岳書やガイドブックも、この名称にしたがっています。

ところが、現在、公開・刊行されている、地形図では、支流のキネンベツ（記念沢）が札内川となり、札内川本流が十の沢（川）と誤記されています（添付資料 3：国土地理院 1/25000 電子版地形図）。国土地理院発行の地形図は日本でもっとも権威ある地図ですから、今後はこれらの誤った河川名が使われることが多くなるものと予想されます。

問題は、単なる誤植や地名の変更ではなく、戦前から呼び習わされてきた、札内川、十の沢、キネンベツの名称が入れ替わっていることです。登山者が過去の登山報告書や案内書にしたがって入山したときに地形図の名称の誤りに気づかず、予定していなかった支流に入ってしまうおそれ、あるいは遭難時の救助要請や遭難者の捜索活動に重大な混乱を引き起こすことが懸念されます。ご存じのように日高山脈は登山道が整備されておらず、登山者は過去の山行報告や案内書を参考に計画を立て、現地では国土地理院の

地形図を頼りに沢伝いに歩きます。登山者の安全のために、地形図の河川名の誤りは一刻も早く訂正されるべきと考える次第です。

この誤記の訂正について、国土地理院に照会したところ、地元の市町村から訂正の要請があれば、地名の修正・変更手続きに入るとの回答でした。上記の状況をお察しいただき、登山者の安全を確保するために、貴村から国土地理院へ以下の2点の地形図上の地名の変更・訂正を要望していただきたくお願いする次第です。

1. 札内川上流の「十の沢川」を「札内川」に修正する。
2. 「札内川」を「キネンベツ」あるいは「記念沢」に修正する。

なお、この問題について、貴村の担当者をご紹介いただければ、こちらから当会の会員が詳しい経緯の説明に参上いたします。どうぞよろしくご検討をお願いいたします。

敬具

当会の連絡先：

060-8589 札幌市北区北9条西9丁目

北海道大学農学部森林科学科内

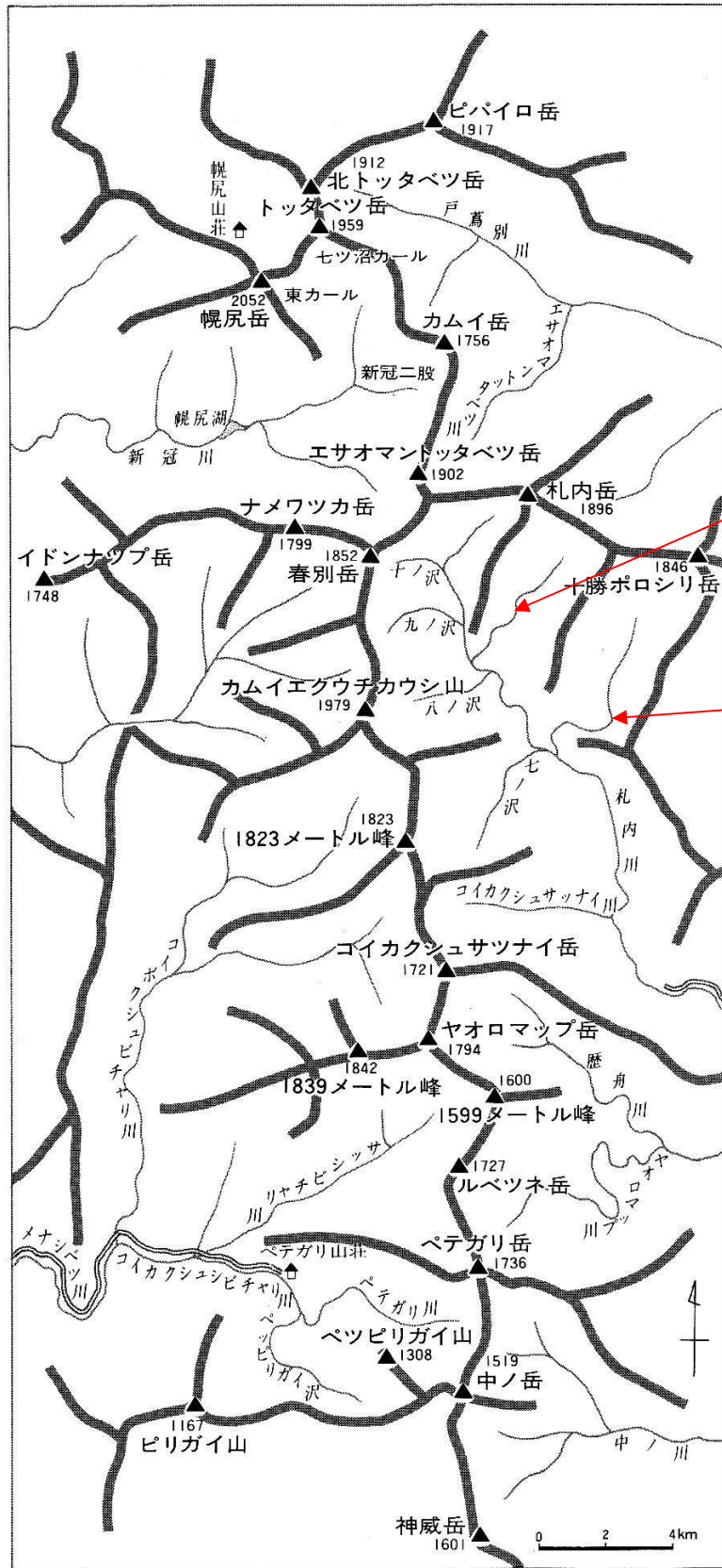
小泉章夫

電話：011-706-3340

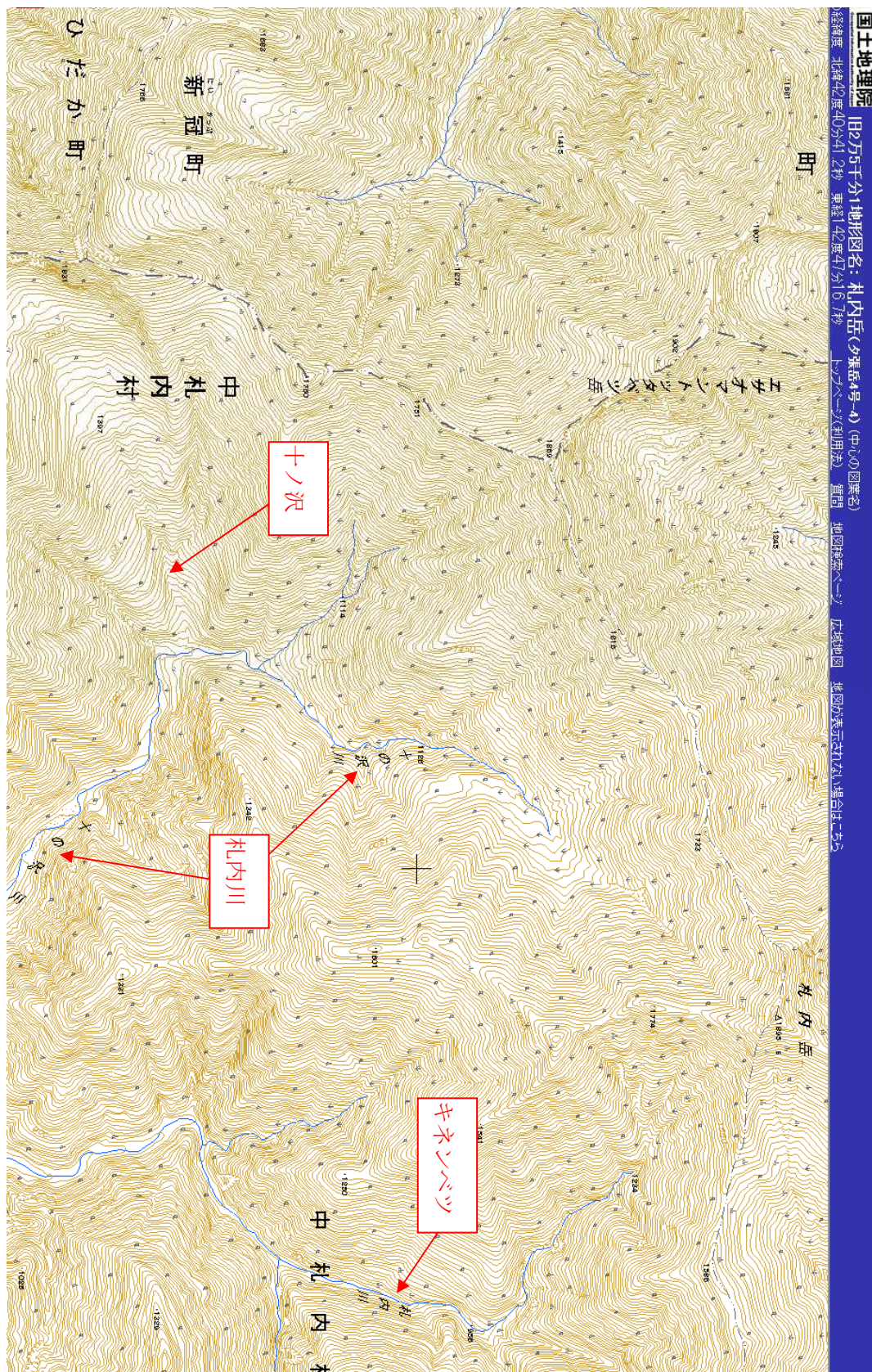
Email: akoizumi@for.agr.hokudai.ac.jp



資料 1 : 国土地理院発行 5 万分の 1 地形図の部分 (平成 8 年版)



資料 2 : 「日本の名山 1 大雪・日高と北海道の名山 (ぎょうせい刊)」 92 ページ



資料 3 : 国土地理院 1/25000 電子版地形図 (赤字は要訂正部分)

<http://watchizu.gsi.go.jp/oldmap25k.html?longitude=142.84375&latitude=42.729166666667>